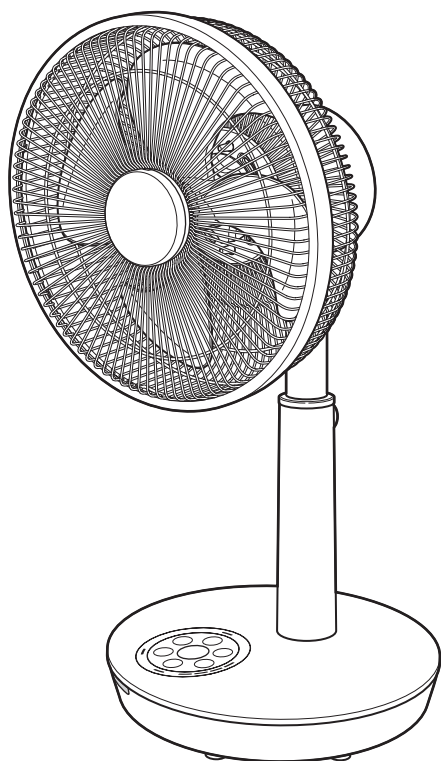


逆回転機能付きリビングファン FLU-231D

取扱説明書・保証書



このたびは、当社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、お読みになられたあともいつでも見られるように大切に保存してください。

※ 本機はお客様組み立て商品となっています。

も く じ

安全上のご注意	P1～P2
各部の名称とはたらき	 P3
組み立てかた	P4～P6
正しい使いかた	 P7～P12
お手入れと保存	 P12
修理・サービスを依頼する前に	 P13
長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について	 P14
アフターサービスについて	裏表紙
保証書	裏表紙

仕 様

電 源	AC100V 50/60Hz
定格消費電力	約 21 W
電源コード長さ	約 1.8 m
外形寸法	約 幅 29 × 奥行き 28.5 × 高さ 55 ～ 68 cm
質 量	約 2.9 kg (本体のみ、リモコン含まず)

- 仕様等は改善・改良のため、予告なく変更することがあります。
- この製品を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
(This unit can not be used in foreign countries as designed for Japan only.)

安全上のご注意

- ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示します。 (物的損害とは、家屋・家財・家畜・ペット等にかかわる拡大損害を示します。)

図記号の意味と例

	⊘は、「してはいけないこと」を意味しています。具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「分解禁止」を示します。)
	●は「必ずすること」を意味しています。具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示しています。(左図の場合は、「電源プラグをコンセントから抜くこと」を示します。)

警告

 禁止	交流100V以外では使用しない。 火災・感電の原因になります。	 使用禁止	異常時(こげ臭い、発煙など)は電源プラグを抜き、使用を停止する。 火災・感電の原因になります。	 プラグを抜く	製品の組み立てや取りはずし、お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。 感電・火災・けがの原因になります。
	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものを乗せたり、挟み込んだりしない。 火災・感電の原因になります。	 指示	電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。 感電・ショート・発火の原因になります。	 分解禁止	分解しない。また、修理技術者以外の人は修理しない。 火災・感電・けがの原因になります。 修理は販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にご相談ください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 感電・ショート・発火の原因になります。		電源プラグの刃および刃の取り付け面にホコリが付着している場合はふきとる。 ホコリが付着したまま電源プラグを差し込むと、ショート・火災の原因になります。	 ぬれ手禁止	ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。 感電の原因になります。
	羽根とガードを取り付けずに運転をしない。 けが・故障の原因になります。		お手入れ後や組み立ての際、羽根とガードをしっかりと固定する。 締めつけが不十分だったり、正しく組み立てられていないと、けが・故障の原因になります。	 水ぬれ禁止	水につけたり、水をかけたりしてぬらさない。 ショート・感電の原因になります。
	子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところでは使わない。 けが・感電の原因になります。	 プラグを抜く	リモコン用の電池からもれた液が目に入ったときはこすらずに水で洗い流し、医師の診察を受ける。 失明や目に障害を負う恐れがあります。		
	本体のすき間にピンや針金などの金属物等、異物を入れない。 感電・けがの原因になります。		使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。 絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。		

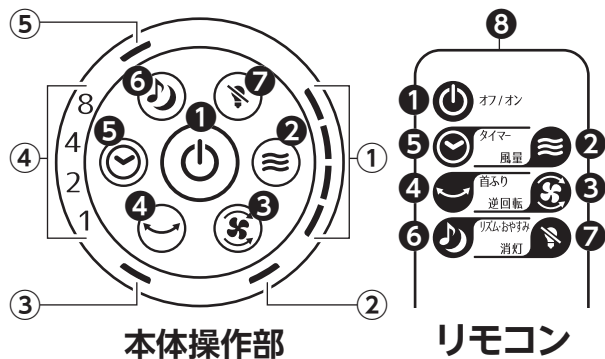
⚠ 注意

 指示	電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに必ず電源プラグをもって引き抜く。 感電・ショート・電源コードの断線の原因になります。	 禁止	リモコンの電池は直射日光が当たる場所など高温になる場所に置かない。 液もれや破裂・火災などの原因となります。	 禁止	髪をガードに近づけすぎない。 髪が巻き込まれ、けがをする恐れがあります。
	リモコンの電池は⊕⊖を正しく入れる。 間違えて入れると、故障するだけでなく、液もれや破裂の原因になります。		風をからだに、長い時間続けてあてない。 健康を害することがあります。		次のようなところでは使わない。 ●レンジなど炎の近く ●引火性のガスがあるところ ●雨や水しぶきがかかるところ 変色・変形・炎の立ち消え・火災・感電の原因になります。
	長時間使用しないときはリモコンの電池を抜く。 長時間入れたままにしておくと、液漏れによって内部を汚したり、破裂による火災やけがの原因になります。		本体を引きずらない。 床が傷つく原因になります。		お手入れの際は住宅用洗剤・シンナー・ベンジン・アルコール・磨き粉などを使わない。 変色・変形・感電・故障の原因になります。
	リモコンを廃棄するときは、電池を抜く。 そのまま廃棄すると、思わぬ事故の原因となります。電池は各地方自治体の指示に従って処分してください。		ガードの中に指などを入れない。 けがの原因になります。		本体ファン部を取り付けずに電源を入れない。接続しない。 感電・故障などの原因になります。
 禁止	リモコンの電池は指定以外の電池を使用しない。 液もれなどの原因になります。	不安定な場所で使わない。 けが・故障の原因になります。		首ふり動作中の本体を無理に正面に向けない。 破損・故障・異音などの原因になります。	

各部の名称とはたらき

操作ボタン

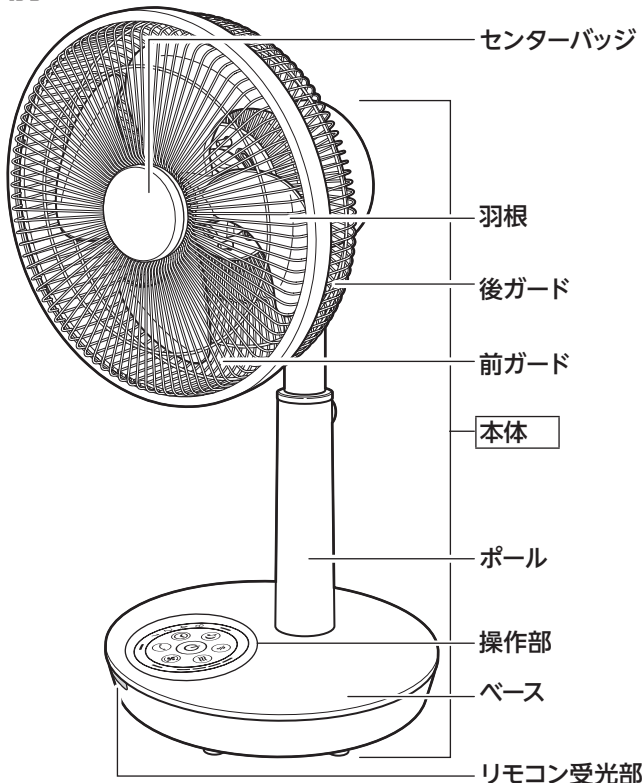
- ① 電源ボタン
運転を開始／停止します。
- ② 風量調節ボタン
風量を調節します。
- ③ 逆回転ボタン
羽根の回転方向を逆方向／正方向に切り替えをします。
- ④ 首ふりボタン
首ふり運転を開始／停止します。
- ⑤ タイマーボタン
入・切タイマーの時間を設定します。
- ⑥ リズム・おやすみボタン
リズム風／おやすみ風機能の切り替えをします。
- ⑦ 消灯ボタン
表示部のランプの消灯・点灯をします。
- ⑧ 送信部 (リモコン)
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。



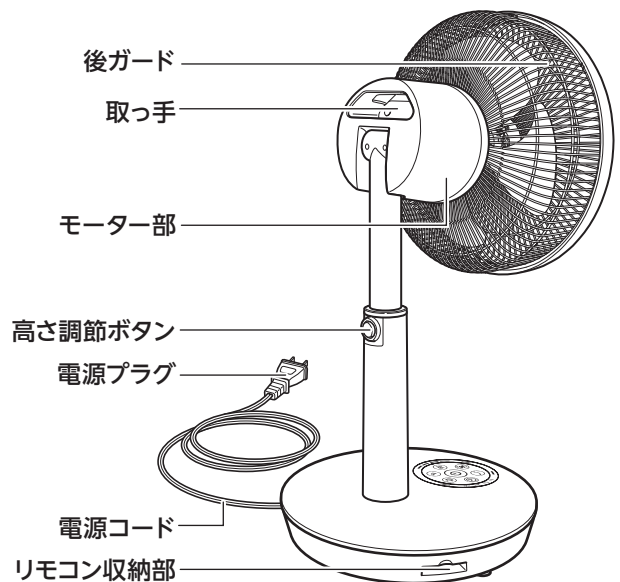
表示部

- ① 風量表示ランプ
点灯しているランプの数で風量を表示します。風量が強くなるほど数が多くなります (弱～ターボ)。
- ② 逆回転表示ランプ
逆回転をしているときに点灯します。
- ③ 首ふり表示ランプ
首ふり運転をしているときに点灯します。
- ④ タイマー表示ランプ 1H、2H、4H、8H
入・切タイマーが作動するまでの時間を表示します。
- ⑤ リズム・おやすみ表示ランプ
リズム風のときは緑色、おやすみ風のときはオレンジ色で点灯します。

前面



後面



組み立てかた

梱包部品一覧

お買い上げ後、同梱の部品を確認してください。

本体	1個	後ガード	1個
前ガード(センターバッジ取付済).....	1個	リモコン	1個
羽根取付用スピナー(モーター軸に取付済)	1個	コイン形リチウム電池 (CR2032)	1個
羽根.....	1個	フェルト(アロマケースに1個・取付済)	4個
後ガード固定ナット(本体に取付済)	1個	取扱説明書(保証書含む)	1個

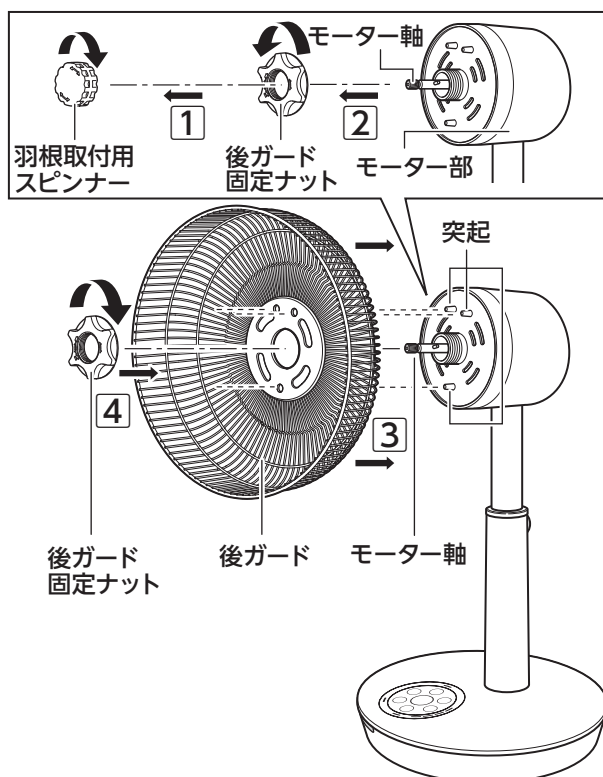
※お買い上げの際、製品の箱に入っていた包装部材は、シーズン終了後、製品を収納するときに必要ですので捨てないでください。

警告	羽根やガードを取り付けずに運転をしない。
注意	・ガードや羽根をしっかり固定してから電源プラグをコンセントに差し込む。 ・羽根のエッジ等でけがをしないよう、十分に注意してください。

1. 本体から部品を取りはずして、後ガードを取り付ける

出荷時、本体には部品が取り付けられています。

- 1 羽根取付用スピナーをはずす①。
 - ・モーター軸に取り付けられている、羽根取付用スピナーを右に回して取りはずしてください。
- 2 後ガード固定ナットを本体から取りはずす②。
- 3 モーター部前面の突起に後ガードの穴を合わせる③。
- 4 後ガード固定ナットを右に回してしっかり締め付ける④。

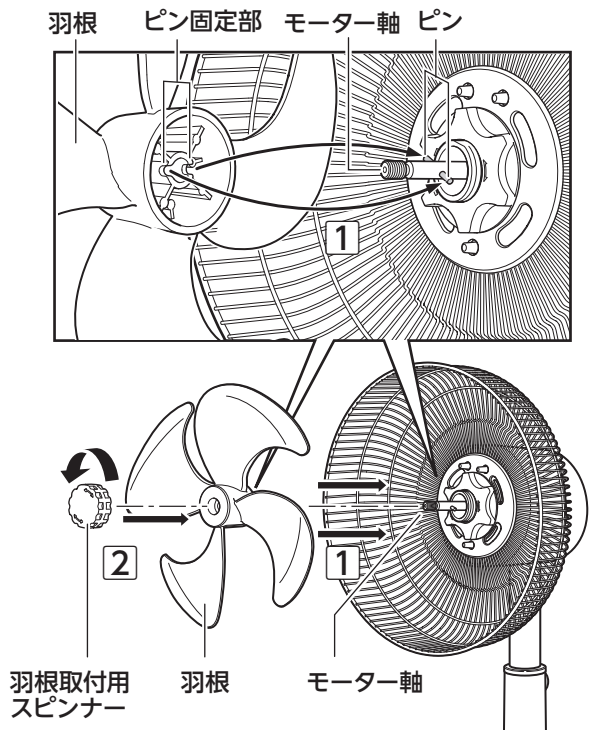


組み立てかた (つづき)

2. 羽根をモーター軸のピンに合わせて取り付ける

- 1 羽根をモーター軸にはめ込む①。
このとき、モーター軸にあるピンと、羽根の裏側にある凹み (ピン固定部) を合わせるように取り付けてください。
- 2 羽根取付用スピナーの穴をモーター軸の先端に合わせる。羽根を押さえ、羽根取付用スピナーを左に回して、しっかりと締め付ける②。

※羽根を押さえないと、回転してしまい、しっかり取り付けることができません。



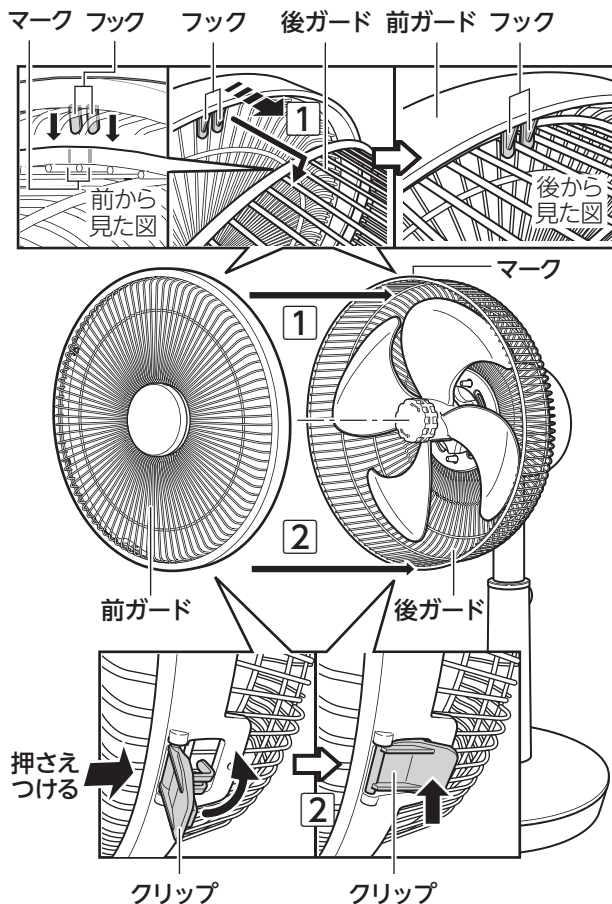
3. 前ガードを取り付ける

- 1 後ガードの上部に前ガードのフックをかける①。
※後ガードの縦筋に合わせて取り付けてください。後ガードにマークがあります。
- 2 前ガードを後ガードの上に、ぴったりかぶせるように取り付ける。

- 3 前ガードを押さえつけながら、前ガードのクリップで後ガードをはさみ込んでしっかり固定する②。

前ガードが多少浮いてしまうときは、前ガードの左右を後ガード側に押さえつけた上で、クリップを取り付けてください。

※クリップが後ガードをはさみ込まず、取り付けられないときは、再度、上部の前ガードのフックをかけるところからやりなおしてください。



リモコンに電池を入れる・交換する

4. 電池ボックスをリモコン本体から引き出す①

電池ボックスのツメを内側に倒すようにして引き出します。引き出しにくいときはツメをようじなどで内側に押しておくとし引き出しやすくなります。

5. (交換するとき) 古くなったコイン形リチウム電池を取りはずす

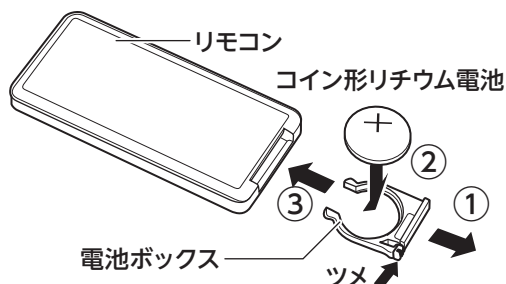
※使用済みコイン形リチウム電池の処分は、お住まいの自治体の指導に従ってください。

6. 電池の⊕ ⊖ の向きに注意して電池ボックスにコイン形リチウム電池を取り付ける②

電池の⊕側を上にして取り付けてください。

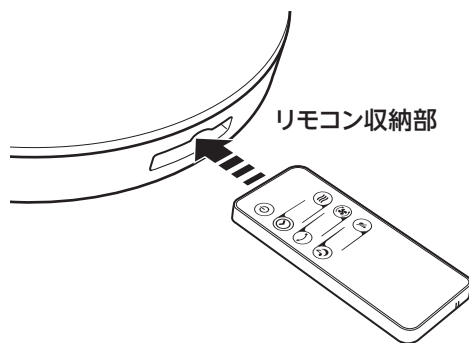
7. 電池ボックスをリモコン本体に差し込む③

カチッと音がするまで差し込んでください。



使用可能範囲

- ・本体正面から直線で約5m
- ・本体正面から左右に約30度
- ・リモコンと本体の間に障害物があると、リモコンが正常に動作しないことがあります。



⚠ 注意

- ・電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは電池を取りはずす。
- ・電池の破裂や液もれを防ぐため、⊕ ⊖ を正しく入れる。
- ・電池の充電・ショート・分解・火への投入・加熱などはしない。
- ・万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れる。

8. 本体にリモコンを収納する

本体左側に収納するときは表面を上にして、リモコン収納部に取り付けてください。

上からの力にはロックがかからないため、上から力がかかると、高さが低くなる場合があります。

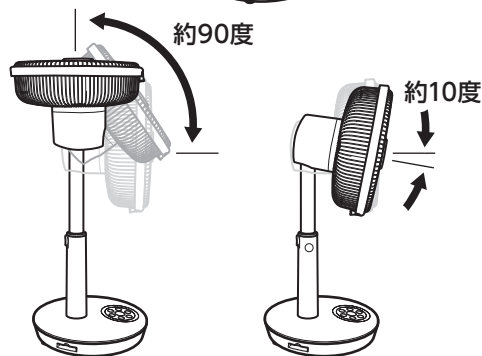
高さの調節

高さ調節ボタンを押してポール上部を持って上げ下げしてください。



角度の調節

通常の角度から真上まで調節することができます。



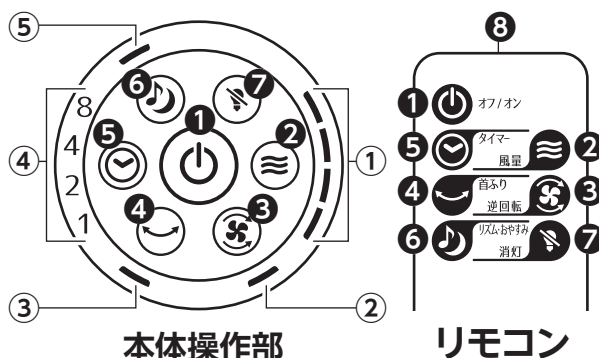
⚠ 注意

- 高さ調節・角度調節をするとき
- ・安全のため電源を切り、羽根の回転を止めてから調節する。
 - 無理に動かすとけがや破損、故障の原因になることがあります。
 - ・指などをはさまないように注意する。

正しい使いかた

操作ボタン

- ① ① 電源ボタン
運転を開始／停止します。
- ② ② 風量調節ボタン
風量を調節します。
- ③ ③ 逆回転ボタン
羽根の回転方向を逆方向／正方向に切り替えをします。
- ④ ④ 首ふりボタン
首ふり運転を開始／停止します。
- ⑤ ⑤ タイマーボタン
入・切タイマーの時間を設定します。
- ⑥ ⑥ リズム・おやすみボタン
リズム風／おやすみ風機能の切り替えをします。
- ⑦ ⑦ 消灯ボタン
表示部のランプの消灯・点灯をします。
- ⑧ 送信部 (リモコン)
本体のリモコン受光部に向けてご使用ください。



本体操作部

リモコン

表示部

- ① 風量表示ランプ
点灯しているランプの数で風量を表示します。風量が強くなるほど数が多くなります (弱～ターボ)。
- ② 逆回転表示ランプ
逆回転をしているときに点灯します。
- ③ 首ふり表示ランプ
首ふり運転をしているときに点灯します。
- ④ タイマー表示ランプ 1H、2H、4H、8H
入・切タイマーが作動するまでの時間を表示します。
- ⑤ リズム・おやすみ表示ランプ
リズム風のときは緑色、おやすみ風のときはオレンジ色で点灯します。

使用前の準備

1. 本体を安定した水平な場所に設置する
本体が正しく組み立てられていることを確認してください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込む
ピーピーと音がします。

運転を開始／停止する

1. 運転を開始する

本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、運転を開始します。

- ・通常の使用時にはメモリー機能により、前回停止時の風量・首ふりで運転を開始します。
- ・電源プラグをコンセントに差し込んでから最初に本体またはリモコンの①電源ボタンを押したときには、弱風運転を開始します。

2. 風量を調節する

本体またはリモコンの②風量ボタンを押して風量を調節してください。



- ・右図のように①風量表示ランプが点灯します。

減光モード

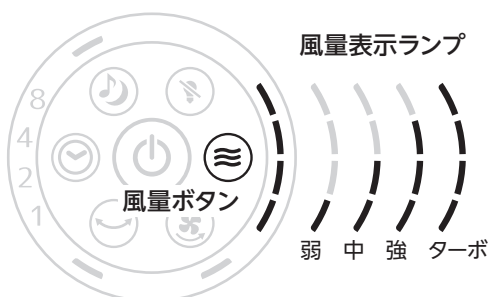
本体またはリモコンの操作をしてから約60秒経過すると、自動的に点灯・点滅しているランプが減光モードになります。再度、本体またはリモコンのボタンを押して操作が入力されるとともに減光モードが解除され、ランプの明るさは通常に戻ります。

メモリー機能

本体またはリモコンの①電源ボタンを押すと、前回の設定で運転を始めます (風量・首ふり)。

※電源プラグをコンセントからはずすと、初期設定にリセットされます。

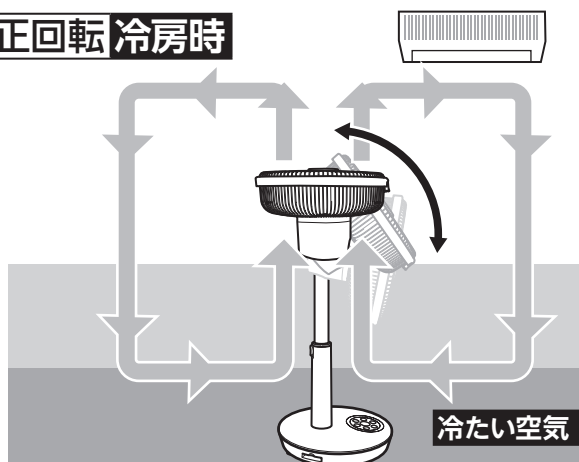
[初期設定] 風量：弱、首ふり：なし。



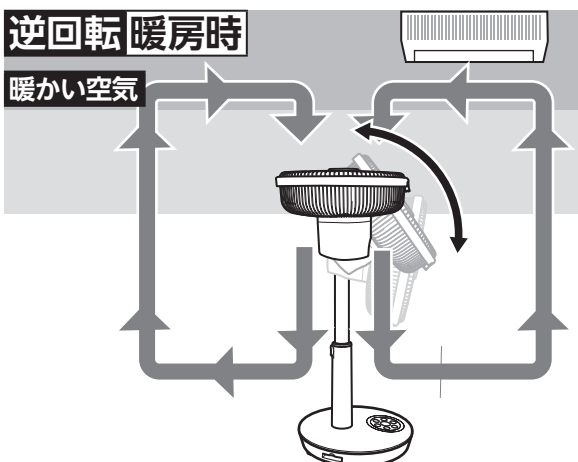
サーキュレーターとしての使いかた

本機は室内の空気を循環させるサーキュレーターとして使用することができます。夏は冷房による冷たい空気が床面にたまるので正回転で、冬は暖かい空気が天井にた

正回轉冷房時



逆回転暖房時

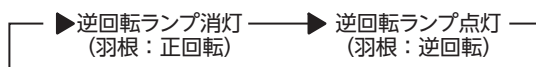


まるので逆回転で、それぞれ空気を循環させ、冷暖房効率を上げることができます。

※サーキュレーターとして使用するとき、首を上に向け
るか、適当な角度にて使用してください。

3. 逆回転機能を作動させる

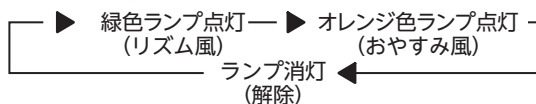
運転中に本体またはリモコンの④逆回転ボタンを押すと、羽根の回転方向が正方向／逆方向に切り替わります。



- ・逆回転時、表示部の②逆回転表示ランプが点灯します。
- ・逆回転をさせると、背面（後ガード側）から風が送られます。

4. リズム・おやすみ機能を作動させる

運転中に本体またはリモコンの④リズム・おやすみボタンを押すと機能が切り替わります。



- ・リズム・おやすみ機能作動時、表示部の⑤リズム・おやすみ表示ランプが設定された色で点灯します。

リズム・おやすみ機能について

リズム風（緑色ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの風量ボタンを切り替えることで風量パターンが変化します。

おやすみ風（オレンジ色ランプが点灯）

風量に強弱をつけ、自然な風を再現します。

本体またはリモコンの風量ボタンを切り替えることで次のように風量パターンが変化します。

(ターボ時) ターボリズム風 → 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(強時) 強リズム風 → 中リズム風 → 弱リズム風
と時間とともに変化します。

(中時) 中リズム風 → 弱リズム風 と時間とともに変化します。

(弱時) 弱リズム風と同じです。

正しい使いかた (つづき)

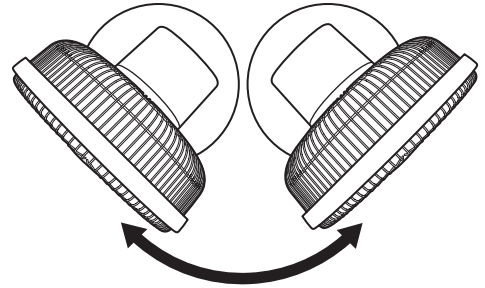
5. 首ふり運転を開始／停止する

運転中に本体またはリモコンのⒺ首ふりボタンを押すと、首ふり運転を開始します。もう一度押すと首ふり運転を停止します。

- ・首ふり運転時、表示部の③首ふり表示ランプが点灯します。

手動で向きを変えることはできません

無理に向きを変えたりすると、故障の原因になります。Ⓔ首ふりボタンを押して、首ふり運転で向きを変えてください。



7. 運転を停止する

運転中に本体またはリモコンのⒻ電源ボタンを押すと、運転が停止します。

切り忘れ防止機能

最後に操作してから約12時間経過すると、運転が自動的に停止します。

6. 消灯モードにする

運転中に本体またはリモコンのⒼ消灯ボタンを押すと、表示部のランプが消灯します。もう一度押すと表示部のランプが点灯します。

- ・本体またはリモコンのⒼ電源ボタンを押して運転を停止させ、再度運転を開始させても、表示部のランプが点灯します。

8. 電源プラグをコンセントから抜く



警告

使用後は電源プラグをコンセントから抜く。
火災・故障の原因になります。

タイマーを設定する

切タイマーの設定

切タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を停止させることができます。

1. 運転中にⒸタイマーボタンを押して切タイマーを設定する

運転中に本体またはリモコンのⒸタイマーボタンを押すと、タイマーランプが点灯し、切タイマーが設定されます。

切タイマーの動作時間は本体またはリモコンのⒸタイマーボタンを押して設定することができます。

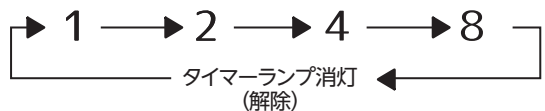
- ・タイマーランプを確認して運転が停止するまでの時間を設定してください。
- ・タイマーランプは切タイマーを設定したあと、切タイマーが作動するまでの時間を表示します。
- ・Ⓖリズム・おやすみボタンを押しておやすみ風を設定していると、切タイマーが作動するまで風量パターンが時間とともに変化します(「リズム・おやすみ機能を作動させる」→8ページ)。

2. 切タイマーをキャンセルする

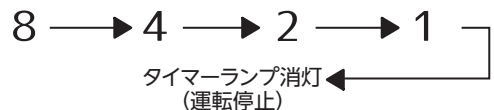
本体またはリモコンのⒸタイマーボタンを何回か押して、タイマーランプを消灯させます。

タイマーランプについて

タイマーランプは、本体またはリモコンのⒸタイマーボタンを押すごとに下のように切り替わります。



入・切タイマーを設定したのち、時間の経過とともにタイマーランプが移り変わり、タイマーがはたらくまでの時間を表示します。



※ 入・切タイマーをキャンセルするには、本体またはリモコンのⒸタイマーボタンを何回か押してタイマーランプを消灯させます。

入タイマーの設定

入タイマーを設定すると、設定した時間後に自動的に運転を開始させることができます。

⚠注意

入タイマーは、設定時間に動作しても問題ない環境であることを十分確認の上、使用する。
子供がいたり、本体が倒れるような強い風が入ってくるところや、周囲に火気があるなど、事故につながるような環境で入タイマーは使用しないでください。

1. 運転が停止している状態で、⌚タイマーボタンを押して入タイマーの時間を設定する

運転が停止している状態で本体またはリモコンの⌚タイマーボタンを押すと、タイマーランプが点滅し、入タイマーが設定されます。

・直前に使用していた風量ランプが（首ふりしていたときは首ふりランプも）点滅します（「メモリー機能」→7ページ）。

入タイマーの動作時間は⌚タイマーボタンを押して設定することができます。

・タイマーランプは入タイマーを設定したあと、入タイマーがはたらくまでの時間を表示します。

2. 設定した時間に運転する風量などを設定する

本体またはリモコンの⌚風量ボタンを押して、設定した時間に運転する風量を設定します（風量表示インジケータが点滅します）。

- ・⌚首ふりボタン、⌚逆回転ボタン、⌚リズム・おやすみボタンを押して、設定した時間に運転する風を設定することができます。
- ・設定は、ランプの点滅により確認できます。

切り忘れ防止機能

入タイマーで運転を開始したときも、12時間連続運転すると、運転を自動的に停止します。

運転開始後、12時間経過すると、運転を停止します。

3. 入タイマーをキャンセルする

本体またはリモコンの⌚タイマーボタンを何回か押してタイマーランプを消灯させます。

アロマオイルの使いかた

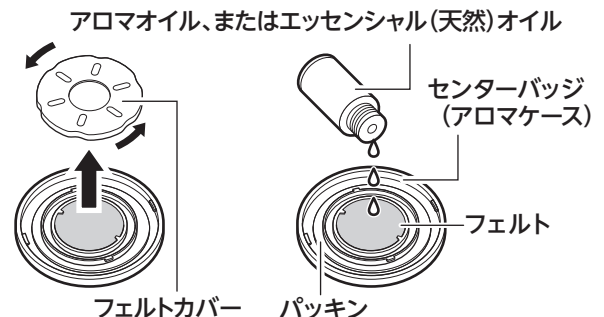
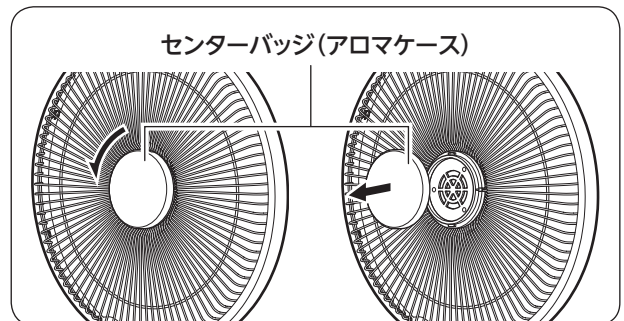
1. 前ガードに取り付けられているセンターバッジ（アロマケース）をはずす
センターバッジ（アロマケース）を左に回して、手前に引いてはずします。

2. センターバッジ（アロマケース）からフェルトカバーをはずす

パッキンもフェルトカバーと一緒にはずれるため注意してください。紛失しないように、センターバッジ（アロマケース）側に取り付けておいてください。

3. センターバッジ（アロマケース）に取り付けられているフェルトにアロマオイルを染み込ませる

センターバッジ（アロマケース）にフェルトが取り付けられていることを確認してください。市販のアロマオイルまたはエッセンシャル（天然）オイルを、外側にこぼれないよう注意しながら2～3滴フェルトに染み込ませます。



正しい使いかた (つづき)



- ・アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルをセンターバッジ(アロマケース)からあふれるまで入れすぎない。
- ・アロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルがセンターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側に付着した場合は必ず拭き取る。
- ・センターバッジ(アロマケース)やフェルトカバーの外側にアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルが付着した状態で取り付けない。
- ・本製品専用のフェルト以外は使用しない。本体の破損・故障の原因になります。

4. センターバッジ (アロマケース) にフェルトカバーを取り付ける

5. 元の位置にセンターバッジ (アロマケース) を取り付ける

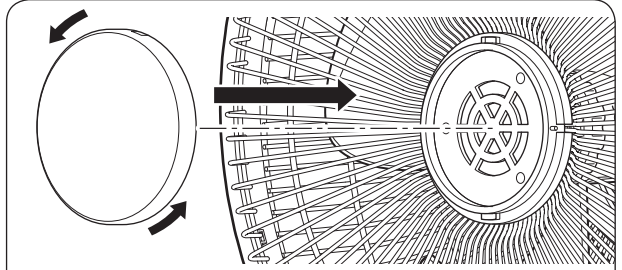
手順1と逆の順番で取り付けます。周囲の凹凸に合わせてはめこみ、右に回して取り付けます。

6. 運転を開始する

7ページの「運転を開始／停止する」の手順に従い運転を開始してください。アロマの香りを含んだ風をお楽しみいただけます。

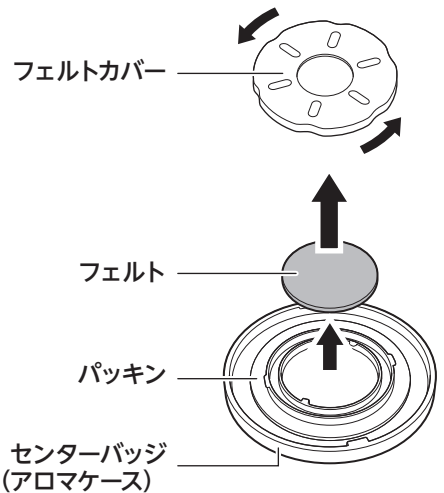
フェルトの交換

- ※ フェルトが汚れてきた場合や違う種類のアロマオイルまたはエッセンシャル(天然)オイルを使用する場合は、フェルトを交換してください。
- ※ フェルトの交換の際は、右図のようにフェルトカバーを左に回してはずします。その後、フェルトを取りはずし、フェルトを交換します。
- ※ フェルトは必ず図のように、ツメの下になるように取り付けてください。パッキンが取り付けられていることを確認し(必ず取り付けてください)、フェルトカバーを右に回して取り付けてください。
- ※ フェルトはご購入時にフェルトケースに取り付けられているもの以外に3個付属しています。フェルトは洗って再使用することができません。
- ※ フェルトはセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部のツメの下になるように取り付けてください。センターバッジ(アロマケース)は中性洗剤などで洗い、水気をよく拭き取ってください。

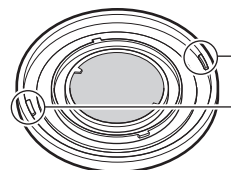
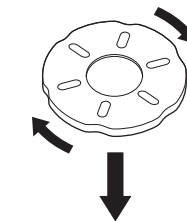
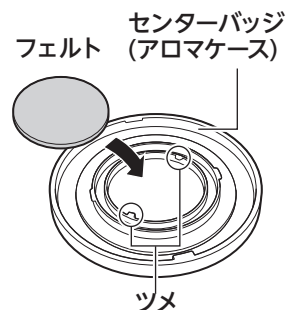


センターバッジを取り付けるときは、周囲の凹凸を組み合わせるようにはめこみ、右に回して取り付けてください。

センターバッジ(アロマケース)に取り付けられているフェルトカバーを左に回すとフェルトカバーがはずれます。



フェルトはセンターバッジ(アロマケース)のフェルト収納部から浮き・はみだしがないようにツメの下になるように取り付けてください。



※パッキンも忘れずに挟み込んでください

センターバッジ(アロマケース)・ツメ

フェルトカバー装着時は、フェルトカバーのまわりにあるツメを、センターバッジ(アロマケース)の内側にあるツメよりも下に押し込み、右に回してセンターバッジ(アロマケース)にはめ込んでください。

交換用フェルト

交換用のフェルトは別売しています。本体お買い上げの販売店またはドウシシャお客様相談室(裏表紙参照)にお問い合わせください。

※フェルトは消耗品ですので、保証期間中でも有償となります。

交換用フェルト

商品名 フェルト (4枚)

型番 AF-ZE1

¥900 (税抜)

2019年3月現在



注意

取りはずしたフェルトの扱いに注意する。

アロマオイル、エッセンシャル(天然)オイルはプラスチックを溶かしたりすることがあります。大切なものを取りはずしたフェルトに触れさせると、傷つけてしまうこともありますので十分注意してください。

アロマオイル、エッセンシャル(天然)オイルなどについて

- ・炎に近づけないでください。
- ・子供の手の届かない場所に保存してください。
- ・衣服などに付着した場合は、大量の水で洗い流した後、自然乾燥させてください。乾燥機は使用しないでください。発火する恐れがあります。
- ・手に付着したときは、直ちに手を洗ってください。
- ・取り扱いについては、アロマオイル、エッセンシャル(天然)オイルに付属の取扱説明書をご覧ください。

お手入れと保存



警告

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。

感電・火災・けがの原因になります。

お願い

- ・住宅用洗剤やシンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉などは絶対に使わないでください。
- ・本体に水をかけて洗わないでください。(感電・故障の原因になります。)

お手入れ

本体の汚れは、ぬるま湯か食器用中性洗剤(柑橘系を除く)に浸して、かたくしぼった柔らかい布でふきとり、さらに乾いた布でやさしくからぶきをしてください。(樹脂部分は強くこすらないでください。傷つきの原因となることがあります。)

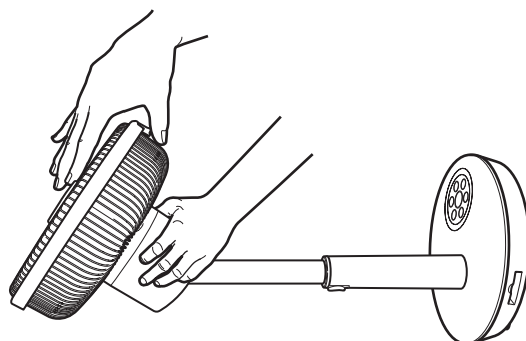
※正回転・逆回転を切り替えると、羽根やガードに付着したホコリが飛ぶことがあります。こまめにお手入れをしてください。

前ガードの上手なはずしかた

1. 座布団などの上に本機を仰向けに置きます。
2. ファン部を上方向に向け、下側をおさえます。
3. 前ガード下側にあるクリップ(透明)をはずします。
4. 前ガードを下側から一気にはずします。
※クリップ(透明)に力をかけないでください。

保存のしかた

- ・お手入れのあと、よく乾燥させてください。
- ・真上を向けた状態では保存せず、通常の状態にて保存してください。真上を向けて保存すると、ホコリなどがモーター部内部に入り、火災や故障の原因になります。
- ・ポリ袋などをかぶせ、湿気のない場所に保存してください。
- ・お買い上げの商品が入っていた箱に入れて保存する場合は、4～5ページ「組み立てかた」と逆の手順で分解してください(部品の紛失には十分気をつけてください)。



修理・サービスを依頼する前に



警告

修理技術者以外の方は分解したり修理をしない。

「故障かな?」と思ったときには次の点をお調べください。

症状	主な原因	処置
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに差し込む
羽根がまわらない	・羽根が正しく取り付けられていない ・羽根がガードに当たっている	羽根やガードを正しく取り付ける(「組み立てかた」4～5ページ参照)
異音がする	・前ガード・後ガード・羽根が正しく取り付けられていない ・羽根がガードに当たっている	お手入れ後や組み立ての際に羽根やガードを正しく取り付ける(「組み立てかた」4～5ページ参照)
	・羽根取付用スピナーがゆるんでいる	羽根取付用スピナーを締めつける(「組み立てかた」5ページ参照)
リモコンから操作できない	・リモコンの電池が切れている	新しい電池に交換する
	・リモコンの電池が逆に入っている	電池を正しく入れる
	・本体のリモコン受光部に信号が届いていない(リモコン受光部が本体の下側にあるため、本体に向けて操作していても信号が届いていないことがあります)	リモコンの送信部を本体のリモコン受光部に向ける
表示部・ランプが暗い	・最後に操作してから約1分が経過し、減光モードになっている	本体またはリモコンのⓈ電源ボタン以外の操作ボタンが押されると、減光モードが解除され、元の明るさに戻る

長年ご使用の扇風機はよく点検を

このような症状はありませんか？

- ・電源コードや電源プラグが異常に熱い。
- ・電源コードを動かすと、通電したり、しなかったりする。
- ・こげ臭い匂いがする。
- ・その他の異常・故障がある。



このような症状のときは、事故防止のため、すぐに電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店またはドウシシャお客様相談室に点検をご相談ください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

（本体への表示内容）

※経年劣化により発火・けが等の事故の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

	[製造年]（本体に西暦4桁で表示してあります） [設計上の標準使用期間]（本体に表示してあります）
	設計上の標準使用期間を超えて使用されますと経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

（設計上の標準使用期間とは）

※下表の標準的な使用条件の下で使用した場合に、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものではありません。

■ 標準使用条件〈JIS C9921-1による〉

環境条件	電圧	AC 100V	製品の取扱説明書による
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	30℃	
	湿度	65%	
	設置	標準設置	
負荷条件		定格負荷（風速）	
規定時間 など	運転時間	8h／日	
	運転回数	5回／日	
	運転日数	110日／年	
	スイッチ操作回数	550回／年	
	首振運転の割合	100%	

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

故障・修理についてのご相談に関しては…

【受付時間】 9:00～17:00 (祝日以外の月～金曜日)

ドウシシャお客様相談室

☎0120-104-481

ドウシシャ福井家電カスタマーセンター 〒915-0857 福井県越前市四郎丸町52-5

※ 商品名、品番をご確認のうえ、お電話をいただきますようお願いいたします。

※ お電話をいただいたときにお話いただく情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、ご了承ください。



株式会社ドウシシャ

www.doshisha.co.jp